















召喚された瞬間
マスターの男に
唇を奪われるライダー

この男……
なんて力!

それに

しゅ……

男の太くぬるぬるの舌に
口内を蹂躞され
不快感を露わにする



令呪を使用され
性行為による魔力供給を
強制されるライダー

下手では
ないようですね

今はこの男の
言いなりになって
おいたほうが
よさそうですね...

今は魔力供給を優先し
後に男を抹殺し
他の魔術師と再契約を
企てるライダー

男の巧みな腰使いに
膣内をしっかりと湿らせながら
意外とスキのない
マスターを暗殺する
タイミングを伺うのであった...

しかしそれは
判断ミスであった

男の男根は
毎夜ライダーを抱くたびに
その姿かたちを変え
女英霊の淫靡に
最適なイチモツへと
変化していった

また昨日から
形が変わって……!

届いてる!

なんて卑猥な
魔術なのか!!

三日目の夜には
それは完成形に
近づき

ライダーの女の穴を
ピストンするたびに
彼女の「弱り所」を
擦り上げる
魔性の男根となっていた

作り上げられた
理想のちんぼによる
テクニク混じりのピストンは
抵抗を削り取り続け
女であることを
強制するのだった……



完成された
ライダー専用ちんぽ

聖杯戦争そっちのけで
自分を犯し続ける男が
差し出すイチモツを

健気に
脱み返す
ライダーだが

かりくび高め
反り返り控えめ
中太
長さ616cm
真珠616つ……

もはや令呪は不要……
連日の調教により
相性抜群の男根の型を
探し当てられてしまった
ライダーの女陰は
中を淫蜜で溢れさせ
男との子作りの準備を
始めるのであった……









い…大にでも
喘まれましたと…ん…

い…い…い…
い…い…い…















